



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラピーヌ

コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市川 雅邦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 尾崎 史照

TEL 06-6358-2256

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,366	△0.3	△40	—	△30	—	△56	—
26年2月期第2四半期	5,382	—	△52	—	△47	—	△6	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 △53百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△2.41	—
26年2月期第2四半期	△0.27	—

(注) 平成25年2月期より、決算期を毎年3月20日から毎年2月末日に変更しております。これに伴い、平成26年2月期第2四半期(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)と比較対象となる平成25年2月期第2四半期(平成24年3月21日から平成24年9月20日まで)の期間が異なるため、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。また、平成27年2月期第2四半期及び平成26年2月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、四半期純損失が計上されているため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年2月期第2四半期	11,962	—	7,355	—	61.3	315.05
26年2月期	11,723	—	7,446	—	63.4	319.31

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 7,330百万円 26年2月期 7,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	1.1	200	32.6	190	35.2	120	△19.3	5.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	27,670,642 株	26年2月期	27,670,642 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	4,404,228 株	26年2月期	4,401,465 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	23,267,280 株	26年2月期2Q	23,522,608 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、政府、日銀による積極的な経済政策や金融政策を下支えに緩やかな景気回復局面にありましたが、本年4月以降は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や円安の進行による輸入物価上昇の影響から回復基調に陰りが見られるなど、先行き不透明なまま推移いたしました。

当社グループが属するアパレル業界におきましては、消費増税と物価上昇圧力から実質家計所得が減少するなど、全体として消費マインドは盛り上がりを欠き、加えて8月の記録的大雨などの天候面の影響もあり、当社グループを取り巻く経営環境は、依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、持続的安定成長に向けて、事業活動全般のバリューアップ並びにコスト合理化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は53億66百万円（前年同期比0.3%減）となり、損益面におきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、期初予想から赤字幅が改善し、営業損益は40百万円の損失（前年同期は52百万円の損失）、経常損益は30百万円の損失（前年同期は47百万円の損失）となりました。また、四半期純損益は、前期に計上した投資有価証券売却益の影響がなくなったことから、56百万円の損失（前年同期は6百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<卸売事業>

専門店、百貨店それぞれお得意先店頭を重視した営業活動を推し進め、安定的収益確保に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は41億57百万円（前年同期比2.0%減）にとどまりましたものの、営業利益は27百万円（前年同期は41百万円の損失）となりました。

<小売事業>

当第2四半期連結累計期間中に、当社の直営小売店2店と子会社の株式会社ベルラピカの直営小売店2店を出店、同2店を退店し、同期間末の運営店舗数は合計で43店となりました。

店舗毎の立地や特性に合わせた商品品揃え、魅力ある販売促進実行により、お客様満足度の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は12億4百万円（前年同期比5.8%増）と伸長しましたものの、新規出店店舗のインシャルコスト負担が先行し、営業損失は59百万円（前年同期は1百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億39百万円増加し、119億62百万円となりました。これは主に、売掛金の減少1億16百万円があった反面、現金及び預金の増加3億59百万円があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億30百万円増加し、46億7百万円となりました。これは主に、社債の減少60百万円があった反面、長期借入金の増加3億41百万円があったことによるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて91百万円減少し、73億55百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が31百万円となりましたが、売上債権の減少1億14百万円などの収入や減価償却費77百万円等、非資金費用の発生により、1億64百万円の収入（前年同期は1億33百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入25百万円などがありましたが、有形固定資産の取得による支出34百万円、差入保証金の増加による支出17百万円などにより、36百万円の支出（前年同期は47百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済3億8百万円、社債償還60百万円などがありましたが、長期借入金の実行6億50百万円により、2億31百万円の収入（前年同期は58百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて3億59百万円増加して、16億21百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月11日に公表しました業績予想数値から変更しております。当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異と併せ、本日公表の「平成27年2月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の連結業績予想につきましては現時点での見通しであり、今後の企業を取り巻く環境の変化により計画との大きな乖離が発生し、その結果、業績予想に修正が必要と判断された場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,261,729	1,621,451
受取手形及び売掛金	1,402,564	1,288,419
商品及び製品	2,165,505	2,149,067
仕掛品	266,930	267,977
原材料及び貯蔵品	58,653	73,036
繰延税金資産	180,417	166,061
その他	139,489	192,670
貸倒引当金	△2,380	△2,240
流動資産合計	5,472,911	5,756,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,406,397	1,381,081
機械装置及び運搬具（純額）	26,246	24,891
土地	3,341,243	3,341,243
その他（純額）	95,618	90,143
有形固定資産合計	4,869,505	4,837,360
無形固定資産		
その他	23,374	23,216
無形固定資産合計	23,374	23,216
投資その他の資産		
投資有価証券	571,834	552,755
差入保証金	700,246	711,083
その他	169,262	124,328
貸倒引当金	△83,597	△42,595
投資その他の資産合計	1,357,745	1,345,572
固定資産合計	6,250,625	6,206,149
資産合計	11,723,537	11,962,594

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	835,740	834,234
1年内返済予定の長期借入金	561,084	691,084
1年内償還予定の社債	60,000	—
未払金	448,388	481,617
未払費用	42,373	44,878
未払法人税等	60,946	28,969
返品調整引当金	91,500	83,500
ポイント引当金	18,564	18,452
資産除去債務	3,230	1,124
その他	78,940	156,762
流動負債合計	2,200,768	2,340,623
固定負債		
長期借入金	1,704,890	1,916,848
退職給付引当金	182,821	157,574
資産除去債務	65,634	68,721
その他	123,012	123,577
固定負債合計	2,076,358	2,266,720
負債合計	4,277,126	4,607,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,021,378	2,021,378
利益剰余金	1,456,166	1,353,628
自己株式	△537,338	△537,612
株主資本合計	7,294,228	7,191,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,018	139,098
繰延ヘッジ損益	△2,091	△394
その他の包括利益累計額合計	135,926	138,704
新株予約権	16,256	25,130
純資産合計	7,446,410	7,355,249
負債純資産合計	11,723,537	11,962,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	5,382,808	5,366,348
売上原価	2,991,465	2,967,275
売上総利益	2,391,343	2,399,073
販売費及び一般管理費	2,443,564	2,439,867
営業損失(△)	△52,221	△40,794
営業外収益		
受取利息	2,712	3,516
受取配当金	7,162	6,746
為替差益	12,997	3,685
生命保険配当金	512	8,578
その他	10,780	13,103
営業外収益合計	34,165	35,630
営業外費用		
支払利息	22,224	21,650
その他	7,489	4,094
営業外費用合計	29,713	25,744
経常損失(△)	△47,769	△30,908
特別利益		
投資有価証券売却益	55,310	—
事業所閉鎖損失戻入額	—	2,465
特別利益合計	55,310	2,465
特別損失		
固定資産除売却損	654	1,711
減損損失	1,285	1,007
事業所閉鎖損失	1,457	0
その他	—	30
特別損失合計	3,397	2,749
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,143	△31,193
法人税、住民税及び事業税	13,932	11,272
法人税等調整額	△3,433	13,534
法人税等合計	10,498	24,807
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,355	△56,000
四半期純損失(△)	△6,355	△56,000

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,355	△56,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,888	1,080
繰延ヘッジ損益	593	1,697
その他の包括利益合計	46,482	2,777
四半期包括利益	40,127	△53,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,127	△53,222
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失（△）	4,143	△31,193
減価償却費	75,035	77,986
減損損失	1,285	1,007
固定資産除売却損益（△は益）	654	1,711
事業所閉鎖損失	1,457	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△269	828
返品調整引当金の増減額（△は減少）	2,700	△8,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,056	△25,247
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△116	△112
事業所閉鎖損失戻入額	—	2,465
受取利息及び受取配当金	△9,875	△10,262
支払利息	22,224	21,650
投資有価証券売却損益（△は益）	△55,310	—
売上債権の増減額（△は増加）	181,496	114,145
たな卸資産の増減額（△は増加）	△87,252	1,009
仕入債務の増減額（△は減少）	△945	△1,505
未払消費税等の増減額（△は減少）	△30,885	32,115
その他	57,060	41,684
小計	166,459	218,282
利息及び配当金の受取額	9,556	10,660
利息の支払額	△22,791	△21,905
法人税等の支払額	△19,521	△42,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,703	164,368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,544	△34,673
有形固定資産の売却による収入	34	—
無形固定資産の取得による支出	△2,002	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△101,228	△2,777
投資有価証券の売却による収入	194,924	25,414
差入保証金の増減額（△は増加）	255	△17,345
その他	△1,321	△5,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,117	△36,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	450,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△256,942	△308,042
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
自己株式の取得による支出	△139,610	△273
配当金の支払額	△48,210	△45,767
その他	△4,050	△4,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,813	231,555
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	122,007	359,721
現金及び現金同等物の期首残高	1,438,780	1,261,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,560,788	1,621,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,243,748	1,138,112	5,381,861	947	—	5,382,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,243,748	1,138,112	5,381,861	947	—	5,382,808
セグメント損失(△)	△41,588	△1,989	△43,577	△8,644	—	△52,221

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,157,251	1,204,671	5,361,922	4,425	—	5,366,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,157,251	1,204,671	5,361,922	4,425	—	5,366,348
セグメント利益又は損失(△)	27,196	△59,261	△32,065	△8,728	—	△40,794

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。